

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	○探究の方法や発信の方法を自分で選択して課題解決に向かえる授業展開を取り入れる。 ○どの学級でも、毎日1回は、タブレット端末(ロイロノート等)を活用した授業を行う。	B	○総合的な学習の時間や生活科を中心に、児童が意欲的に課題解決に向かう姿が多く見られた。今後は、自己選択の場面を増やしていきたい。 ○約96.2%の児童が授業でタブレットなどのICT機器をよく活用していると感じている。 ○79.8%の児童が英語の授業を楽しみ、84.3%の児童が英語の授業がよく分かると感じている。	○先生方が工夫した授業をしており、子供たちが、各自、選択して取り組む姿があった。自分で考える力、自分で判断する力を育てようとしているところがすばらしい。 ○子供たちが英語を聞き取り、話せている。英語の授業が進んでいると感じた。 ○タブレットを活用し、楽しく授業に取り組んでいた。	○引き続き、児童が意欲的に問題解決に向かい、力を伸ばせるような課題の内容、提示の工夫をしていく。 ○児童の自己選択の場面を増やしていく。 ○職員研修を通して、児童が、総合的な学習の時間や生活科の授業で付けた力を、他教科でも発揮できるような指導の手だてを取り入れられるようにする。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	○ぎふMIRAI'sの学習の充実を図り、地域の方から学ぶことで、地域のことを知ったり、自分の生き方について考えるきっかけにしたりできるようにする。 ○地域の方に見守り活動や行事等に参加していただき、児童が地域の方と関わる機会をもてるようにする。	A	○ぎふMIRAI'sの学習で、子供たちが、地域の方から多くのことを学び、地域の良さを実感することができた。また、自分と地域の関わりについて考えることができた。 ○地域の方の登下校の見守りや給食配膳支援等や温かい声掛けのおかげで、子供たちが安心して生活することができた。	○たてわり地域探検で、大きい子が小さい子に気を配りながら回っていたり、知っている子が、他の子に説明したりしてよかった。 ○公民館の授業で、積極的に質問する姿がよかった。	○ぎふMIRAI'sの学習で、児童が、地域の方から学び、自分と関わらせて発信したり、自分の生き方を考えたりできるような力を、6年間を通して培っていく。 ○ぎふMIRAI'sの学習を通して、自分の住んでいる地域に愛着をもち、その理由を語る事ができる児童を育てる。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	○互いに声を掛け合うことを心掛け、相談しあえる雰囲気作りに努める。 ○必然と計画性のある職員研修を位置づけ、不祥事根絶と危機管理意識の向上を図る。	A	○学年や学年部のつながりを大切にし、教職員の連携を図ることで、相談し合いながら子供の指導にあたることができた。 ○教員が交代に講師となるミニ研修や各担当からの研修を行い、教職員の力量や意識を高めるよう努めた。	○先生方が工夫した授業をしている。 ○サポートの先生がいて、手厚いと感じた。	○育てたい児童の姿を明確にし、組織を活かして、職員が連携して指導を行う。 ○会議の持ち方等を工夫することにより、各自がタイムマネジメントをし、自分で仕事を時間と、チームで協同する時間を効果的にもてるようにする。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	○子供たちが安心して、安全に生活できるように、職員で情報共有を図り、適切な指導ができるようにする。 ○いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ○学校が楽しいと思える児童が全体の90%以上をめざす。	A	○いじめやトラブルの早期発見に努めるとともに、事実をきちんと把握し、複数で対応を検討してあたることで、適切な指導を行うことができた。 ○91.7%の児童が、学校が楽しいと感じている。	○大きな声であいさつをする等、よくなっている。	○不登校未然防止対策委員会(学年部別生徒指導委員会)を立ち上げる。多くの人の考えを出して練り合うことで、効果的な手だてを打ち出したり、手だてを明確にしたりすることで、いじめ、不登校を未然に防ぐとともに、児童の笑顔を生み出す。
災害、事故に対する安全性の確保	○方法を工夫して「命を守る訓練」を行い、児童の、自分の命を自分で守る意識を高める。 ○関係機関と連携して職員の研修を行い、防災意識を高める。万が一、災害が起こった際に、適切な対応ができるようにする。	A	○児童が自分のいた場所からそれぞれ避難し、振り返りをする訓練を行ったことで、児童の、自分で考えてよりよい避難をしようとする意識を高めることができた。 ○消防署や警察署の方を招いて職員研修を行ったことで、火災や不審者侵入が起こった際の、適切な対応を学び、職員の意識を高めることができた。	○防犯ブザーをつけてもらえてよかった。	○引き続き、職員研修を行うことで、防災に対するより高い意識を持てるようにする。 ○児童が、自分で考え、判断し、自分の命を守ろうとできることにつながる命を守る訓練を行う。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	○整理整頓を心掛け、児童が安全に学校生活を送れる環境を整える。学校内のスペースを有効活用できるようにする。 ○資源を有効活用し、教育環境を整えるとともに、適正な財務管理を行う。	A	○備品点検や環境整備を行った。特に、相談室の環境を整え、温かい雰囲気を作ることができた。 ○事務職員と連携し、必要な物を適切に購入したり、物を大切に使うことを心がけたりして、教育活動の充実を図った。	○校舎内が昨年に比べて、とてもきれい。他校と比べても美しい。掃除が行き届いている。	○清掃指導の充実を図り、美しい環境が保てるようにする。 ○引き続き、充実した教育環境や適正な財務管理が行えるよう努力する。